

I. 授業の概要

この授業は教育学部2回生後学期の専門教育科目である。授業の目的は身近な地域から世界の地域までを具体的な事例としながら基礎的な知識を修得させ、地域的特色や地域的差異を理解する地理学的見方を身につけることを目的とする。なお、この科目は課程認定科目である。

授業の到達目標は、①地理学（地誌学も含む）の基本概念を理解する。②地図とくに地形図の基礎知識を習得し、正しく読図できる。③それぞれの地域の特性を理解し、地域における人文事象と自然環境や歴史・社会・経済環境などとの関係を説明できる。

関連するディプロマ・ポリシー(DP)は教育に関する確かな知識と、得意とする分野の専門的知識を修得している（知識・理解）。教育活動に取り組むため、高い技能と豊かな表現力を身につけている（技能・表現）。授業の内容と計画はシラバスを参照されたい。

II. 授業評価の方法と結果

2015年1月26日から2月2日にかけてMoodleでアンケート調査を実施した。履修者42人の内に39人から回答を得た。なお、紙面の関係で、以下の集計結果には回答者が0人の選択肢を省略した。

1. 教員の言葉・声の調子等は適切であったか。
① そう思う 26人(67%)
② どちらかといえばそう思う 11人(28%)
③ どちらとも言えない 2人(5%)
2. パワーポイントなどの字や図表の表現は適切であったか。
① そう思う 26人(67%)
② どちらかといえばそう思う 12人(31%)
③ どちらとも言えない 1人(3%)
3. 教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮したか。
① そう思う 23人(59%)
② どちらかといえばそう思う 14人(36%)
③ どちらとも言えない 2人(5%)
4. 時間配分など、授業の進め方は適切であったか。
① そう思う 17人(44%)

- ② どちらかといえばそう思う 18人(46%)
③ どちらとも言えない 4人(10%)

5. 配布資料、地図帳、教科書などの教材は適切であったか。

- ① そう思う 19人(49%)
② どちらかといえばそう思う 17人(44%)
③ どちらとも言えない 2人(5%)
④ あまりそう思わない 1人(3%)

6. Moodleの使用は効果的であったか。

- ① そう思う 4人(10%)
② どちらかといえばそう思う 19人(49%)
③ どちらとも言えない 12人(31%)
④ あまりそう思わない 4人(10%)

7. 教員は、授業中の私語に対して適切な処置を取ったか。

- ① そう思う 12人(31%)
② どちらかといえばそう思う 13人(33%)
③ どちらとも言えない 13人(33%)
④ そうは思わない 1人(3%)

8. 教員は、学生の理解度を確認しながら授業を進めたか。

- ① そう思う 10人(26%)
② どちらかといえばそう思う 20人(51%)
③ どちらとも言えない 9人(23%)

9. 課外での調査は、授業内容の理解を深めるのに有効であったか。

- ① そう思う 24人(62%)
② どちらかといえばそう思う 14人(36%)
③ どちらとも言えない 1人(3%)

10. 授業の内容は興味や関心が持てるものであったか。

- ① そう思う 19人(49%)
② どちらかといえばそう思う 16人(41%)
③ どちらとも言えない 4人(10%)

III. 授業時間外学習について

授業時間外の調査を行なったことについて、参加者の62%は授業内容の理解に有効だと回答した。また、休日を使って、フィールドワークを実施したことにしても賛成する学生は多かった。

IV. 次年度の改善点

以上のように、授業は概ね当初の目的に達した。次年度では、授業時間外の学習を充実するためにさらに工夫が必要だと思う。